

常新新聞

定部金貳錢 廣五號十二休日曜大祭
 料五號十二休日曜大祭
 料五號十二休日曜大祭

日刊 一發行兼編輯人 川崎文治 本社下同番地(電話六三〇番)
 印刷所 常盤每日印刷社

刊夕日八十二月六

十姊妹の將來 (一)

古川龍城

一時はその價格に於いて洋鳥類の或るものを飛び越れた十姉妹も、盛んなるものは必ず衰ふの喩へに洩れず、今や次第に下落して飼鳥者をしてさぞろ不安を感じせしめるに至つた。併し考へて見ると、たゞ巢引きその物を娛しむといふ立場から見れば兎も角、鳴きと云ひ、羽色といひ、十姉妹に何等の美點を見出し得ないのは識者の等しく認めることである、そこで將來、この鳥は全然廢れるかといふ

故その方面は眼中に置かず寧ろその性質、即ち屢々産卵し、よく抱卵し且つよく育雛する等の諸條件を具備したものを、次第に撰擇淘汰しその價格の差等は近時斑紋の多寡によつて決定さよつて、評價される様にしたものである。最も羽色は、現實的に眼に見えないものであるからこれが賣買はたゞ信用と徳義とに依るより外に仕方がないので實地には行はれ難いかも知れないが行く／＼は性質の良否が直ちにその鳥の價格に比例する様にしたと思ふ

常盤每日新聞
 發行所 常盤每日新聞社
 電話六三〇番

霜降小倉 學生服大特賣

小學用

六七歳位 一、一〇
 八九歳位 一、二〇
 十歳位 一、三〇
 十一二歳位 一、四〇
 十三四歳位 一、五〇

中學用
 二圓二十錢ヨリ各種

なかや洋服店
 平二丁目(電二〇三)

主治効能

急性及慢性の痲病、消渴、膀胱炎、膀胱カタル、糠衣丸定價金(壹圓六十錢七十四錢)

星製藥株式會社
 チエーンスストア
 平町三丁目三〇

園藝肥料各種

凡テノ植物ノ發育ヲ助ケ
 枝葉ヲ繁茂セシメ花輪結實ヲ大ナラシムル

補助肥料 促肥素 三合入 定價廿五錢

稲作及畑作用
 一反歩料 一圓五十錢
 五畝歩料 八十錢
 平町四丁目

菅野屋肥料店
 (電話百五十七番)

外科

外科一般
 耳鼻咽喉科
 男性病科
 ×光線科

赤心堂病院
 田町 電話四七五番

養生命酒

其偉効眞に神の如く
 定價……一圓五十錢、二圓

平町五丁目角 山野邊藥局

脳と生殖器の藥

エキスピン

世界的に大發見劑(等九エキス) どりも頭がボンヤリする方
 老衰を恐怖する方
 良く寝むれぬ方
 精力減退の方
 記憶力の悪さの方
 遺物の毒の方

定價 五圓
 金 廿圓

東京芝區字田川 東京ラヂオエレーヤー株式會社藥品部
 平町田町 宇佐美藥局
 一手販賣元 電話五五一番

醬味鰹酒 油噌節類詰罐食品

登錄商標

屋問造製

社會名合崎山屋鹽

電話 營業部 一〇番
 工場 二七番

退痛散

脚氣、淋毒、梅毒、神經痛の
 (徳島縣、當金屋の家傳の大妙藥)

平町一丁目 大平屋藥店
 電話六四二番

本日柳川出前

より 柳川 迅速

本年も相變らず御最負の程願ひます

御一人前 四十錢

牛、鳥肉 御料理 石川亭
 田町 (電四三)

牛田式噴霧器各種

本邦噴霧器界の權威
 舶來品に優る堅牢無比

牛田式噴霧器各種
 理化學研究所 果樹蔬菜消毒藥
 究所新製 ネオトシ 原藥
 新人荷 石灰窒素肥料
 ◎ネオトシ、石灰窒素說明書御申越次第進呈

西村屋藥舖
 平町二丁目 電話三番

夏季と児童

よく遊ばせ
よく遊ばせよの
主義でゆくのが一番
櫻井磐女校長談

石城児童研究会談話題

既報石城児童研究会にて
は此程總會を開き「夏季
と児童」に關して夫々意
見を交換したが同會の副
會長櫻井磐城高等女學校
長の談左記の如くである

暑くなりまして何うしても
外へ出掛ける機会が多くな
りますし、邊りの子供向きの
な店屋等が明るく近寄りい
やうになつてまゐります
から、子供ばかりでなく
大人に しましても
つひうか／＼と夜ふかす
るやうになるものです、従
つて児童達の家庭に於ける
復習が知らず識らずの間に
お留守になり勝ちです、父
兄の方にしましては氣附い
てゐてもつひまア暑いのだ
からといふやうな氣になつ
て

一緒に 遊んでしま
ひます、子供達にしまして
も正直なところ稚いながら
それ相當に頭腦を痛めるも
のですから復習等より自由
氣儘に遊ぶのを喜ぶことは
云ふまでもないでせう、さ
ればと云つて顔を見るたび
に口を利くたびに一口にも
一口に も勉強をし
る、といふのも考へもので
すと云ふよりも寧ろ壓迫的
に強制してゐるのをよく見
受け、これも亦感心い

心掛け が、わけて
母親方に必要であります、
次に何うしても閑却しては
ならないのは、児童の最も
得意な學科と最も成績の悪
い學科とを充分調べること
です、そして最初は得意の
方を主に、不成績な方を従
に、時間を定めるなりして

自身も 知つてゐる
ことでせう、またこれ程簡
にして明要を得た言葉はな
いと思ひます、同事に如何
に言ふに易く行ふに難いこ
とでせうか、考へれば考へ
るほど此のなんでもなさそ
うな言葉が六敷くなつてま
ゐります、しかし少くとも
漸次それに近い程度に進ん
で行かうと

放任し ておけば遂
あまへるといふことを覺え
て手におへなくなるもので
す、そこで私が先づ申した
いのは「よく遊ばせよ遊
ばせよ」といふことであら
す、此の言葉は昔から多く
の人が申した言葉で、おそ
らく児童

復習をさせるやうにし、そ
れを

次第に 主と従を逆
にするやうにいたします、
ところで復習する時間です
が、總じて子供は物にあき
易いものですから一時に長
くやらせるのは復習を壓ふ
原因となり、成る可く
短時間に充分にやらせるこ
と、し、また日を定めてお
いて

休ませ よく遊ばせ
ることも必要なのでありま
す、即ち自分から進んで復
習するやうになる因は此處
に存するのであります、よ
く人によりますとたゞ表面
的に復習をせよと言ふだけ
で少しの監督もしてやらな
い方がありますが、かうい
ふ場合

兒童は 屹度自分の
好きな學科ばかりをして肝
腎の不成績な學科を顧みな
いものです、これでは本當
の復習にはなりません、前
述の得意なものど不得手な
ものを漸次反對に軽重をつ
けると申しましたのは此處
の點で何うしても呑み込み

梅の實の漬け方
先づ梅の實を洗つて他の桶
に水を入れ其中に三時間程
つけて後、ざるに揚げよく
水氣をきつておき、漬桶の



家庭欄

勝手の 判つたもの
が主になり易いものですが
それをだん／＼と成績の悪
い方を主にして行くやうに
監督してやるのが本當の指
導するのです、と言つても
決して優良な學科たりとも
おろそかにしてはなりません、
少しでも

等閑に 附してゐま
すと、成績が悪くなるもの
です、これは全く恐ろしい
程で優等生と言はれてゐた
者が漸次下つて行く例が少
くありません

財務主任 協
議
けふ財務署に
平稅務署にては本日午前十
時より管内財務主任協議會
を開き貸賃資格調査委員選
舉に關して打ち合せを爲し
終つて午後二時より末廣亭
にて懇親會を開くと

合同方部會
豊間村にて
石城郡飯野、高久、夏井、
豊間の四ヶ村々長、小學校
長、村會議員、役場吏員等
底に鹽をまきそれに梅を並
べ又鹽、梅と云ふ具合に漬
込んで軽い石を利かせ、半
月位其まゝにしておいてお
天氣の好い日にすだれのや
うな物の上にはひろげて三日
程日光に干し、再び桶に漬
け込み二三日して又干すと
云ふ風に四五回繰り返すか
と漬汁がいゝ加減にしみ込

の合同方部會は廿九日午前
九時より豊間役場に於て開
き諸般の協議を遂げて後大
敷網を視察すると

紙幣現る
十圓の
蘭代金中に

お目見得 泥
棒
鈴木齒科醫盜難
平町南町齒科醫鈴木五郎方
へ去る二十五日から女中奉
公としてお目見得に住込ん
だ自稱茨城縣那珂郡瓜連村
大字玉川大武シモ(一)假名
は二十七日午前四時頃家人
の寢靜まつてゐるのを奇貨
として行かけの駄賃に現金
二圓及下駄髪道具等を竊取
何れへか逃走した

みます。別にしそを一枚宛
洗つて前の梅酢へ漬けます
程よく色が出た頃を見計つ
て一つづつしそに包み桶に
入れて固く蓋をし、其上紙
で目張りをして日の當らぬ
所に置きます。一番おいし
いのは一年半位の後です。
なほ注意する事は、干す時
は晴天の日を選びます

土地賃貸
有權者三萬五百
石城郡土地賃貸價格調査委
員の選舉は愈々來月二十五
日を以て各町村役場に於て

議員候補者
選舉が出来ぬ
石城郡農會にては既報の如
く末だ鹿島、玉川、赤井、
三坂、澤渡、川部の六ヶ村
が村農會議員選舉を終へぬ

執行する、旨既報の如くで
あるが愈々まとまつた各町
村の報告に基き既報條件の
有權者見込数は合計三萬五
百四十一人でその内驛次の
如くである

平一、三〇〇、飯野一、四
〇〇、鹿島四五九、江名
一、〇四八、豊間五〇〇、
高久五〇〇、夏井九八〇
神谷九〇〇、草野一、二
六〇、大浦八〇〇、四倉
一、二〇〇、大野一、〇一
〇、平窪七五〇、赤井九
七〇、上下小川六五八、
川前四二〇、三坂澤渡七
七六、永戸箕輪九〇〇、
好間一、〇七八、内郷五
六九、湯本七〇〇、磐崎
一、一〇〇、上遠野九〇〇
〇、入遠野一、〇二三、川
部八五〇、勿來一、二〇

平町 人事
▲出生
△古鏡治町三九 猪狩家氏三男昭
二
△田町五四 小松四郎氏長男昭夫
△田町三六 當時大阪市西淀川區大
和田町 大石寛治氏昭也
▲死亡
△鎌田町五八 山崎カニ(五四)
△長橋町五二 渡邊清隆(二五)
△仲間町七二 小野喜江(二五)

〇、山田八五〇、植田八
八〇、渡邊一、二五〇、
泉九五〇、玉川一、二〇
〇、小名濱一、一〇〇

平町の在米高豊富
廿五日現在で千六百廿六石
職田中良淳氏を招聘し磐崎
村長倉小學校に於て思想上
に關する講演會を開催の筈
であるが翌三日午前九時か
らは内郷村磐城劇場に秋田
礦山専門學校校長工學博士横
堀壽三郎氏を招き同様の講
演會を催すと